

平成30年1月19日
湖西高校生と広報広聴特別委員会の
意見交換会

実施報告書

はじめに

湖西市議会では、“市民が主役で、活発な議論をする、見える議会”の実現のため、平成28年6月に広報広聴特別委員会を設置し、活動を展開しています。

選挙権年齢の18歳への引き下げを踏まえ、「若者の議会活動に対する認知度の向上」を図るとともに、「若者の考えを政策・提言に反映させる」「若者がまちづくりを考える」きっかけづくりとするために、昨年度に引き続き今年度も湖西高校生との意見交換会を開催することといたしました。

目 次

ページ

1. 意見交換会の概要	1
2. 意見交換	
(1) 生まれ育ったまちの自慢できる点、残念な点	2
(2) 将来自分たちのやりたいこと、その時に望むまちの姿	3
(3) 18歳選挙権について思うこと	4
(4) 議員に聞きたいこと	5
3. 高校生の意見から考える議会等の課題	6
4. 意見交換会を振り返っての感想（広報広聴特別委員会）	7

1. 意見交換会の概要

開催日	平成30年1月19日（金）
開催時間	13時25分から15時10分まで
会 場	湖西市役所 3階 委員会室・第1議員会議室・第2議員会議室・302会議室
参加者数	湖西高校生 40人（3年生）
出席議員	広報広聴特別委員会委員 神谷里枝、馬場 衛、渡辺 貢、楠 浩幸、吉田建二、加藤弘己、 荻野利明、豊田一仁、中村博行 議長 二橋益良
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会（広報広聴特別委員会委員長 神谷 里枝） 2. あいさつ（議長 二橋益良） 3. 日程説明 4. 議員紹介 5. 議場見学・市長室見学 6. 意見交換 ◎…コーディネーター、○…記録 <p>A班：高校生10名 委員会室（◎加藤弘己、○中村博行）</p> <p>B班：高校生10名 第2議員会議室（◎吉田建二、○荻野利明）</p> <p>C班：高校生10名 第1議員会議室（◎渡辺 貢、○馬場 衛）</p> <p>D班：高校生10名 302会議室（◎豊田一仁、○楠 浩幸）</p>



▲議場見学の様子

2. 意見交換

(1) 生まれ育ったまちの自慢できる点、残念な点

意見

【自慢できる点】

- 自然が豊か。浜名湖の景色が良い。湖西連峰・浜名湖など自然が豊かなところ。冬、富士山がきれいに見える。地場の特産品もあって良い。
- イベントが多い（市民参加のおいでん祭りとか、ふれあい広場）。”おいでん祭”の花火が綺麗。
- 野球大会などスポーツイベントが多い。（希望的観測かも？）
- 企業、働く場所が多い。湖西市には、工場が多い。
- 白須賀、新居町、豊田佐吉記念館など歴史のあるところ。新居関所、佐吉記念館等、史跡が多い。
- ご当地アイドル（ToToMe）がいる。
- 湖西市はごみの分別が良くできている。

【残念な点】

- 浜名湖岸にゴミの漂着物が多い。海の近くが臭い。汚れている。
- 交通の便が悪い。
- 町が暗い。街灯が少ない。通学路に、暗いところに必要な街灯が少ない。JRにかかっている歩道橋に手すりが欲しい。
- 若い世代の遊ぶ所が無い。飲食店が少ない。
- 子供の遊んでいる姿を見ない、スポーツの出来る公園が身近にあると良い。小さな子供が遊べる公園が少ない
- 駅の周辺がさみしい。街に活気が無い。
- 吹奏楽部に所属しているがもっと活躍の場が欲しい
- 華道部も披露する場が欲しい
- スポーツ大会をもっと増やして欲しい。
- 歴史あるところだが、湖西市以外の人に知られていないように思え残念。
- オフィスが少ない。
- 道路整備が遅れている、信号機も少ない。
- 駅周辺に勉強ができる場所がない。



▲意見交換会の様子 A 班

(2) 将来自分たちのやりたいこと、その時に望むまちの姿

意見

- 栄養士になりたい。
地元の食材を活かしたい。海産物や浜名湖ポークなど広めたい。
- 環境保全に関わる仕事に就きたい。
今ある湖西市の環境を将来に残したい
- 教師になりたい。
学生や一般人が気軽に学べる施設を充実して欲しい。
- 保育士になりたい。
子供が遊べる施設があると良い（豊橋のんほいパーク等）。子供が多く安心して住めるまちになって欲しい。
- パティシエになりたい。
湖西市の食材を活かしたスイーツを作りたい。
- 介護士になりたい。
人の心に寄り添っていききたい。互いに助け合うまちにしたい。
- スポーツトレーナーになりたい。
湖西市からアスリートを育てたい。
- イラストレーターになりたい。
イラスト用の欲しいものがある店が欲しい。
- 地元に戻元できることがやりたい。
例えばイベントターとなり湖西市を元気にしたい。市が多くの人を受け止められるなって欲しい。
- この地域（入出）に住み続けたい。今の環境、自然を含めて後世に残したい。
- 犯罪が少ない町であるので、続けて欲しい。明るくて活気のあるまちになって欲しい。
- 地域医療を充実をして欲しい。
医師も看護師も不足している。患者が他市へいってしまう。



▲意見交換会の様子B班

(3) 18歳選挙権について思うこと

意見

<肯定意見>

- 社会人としての自覚が持てる。
- 若い人が政治に参加する良いきっかけとなる。
- 政治に関心が持てる。
- 投票の判断は難しいが、年齢は何歳でも良いと思う。
- 投票年齢は18歳からが良いと思うが、中学から主権者教育が必要。
- 若い人の意見が政治に取り入れられると良い。

<否定意見>

- 18歳はまだ子供、政治について学ぶ必要がある。
- 知識が無くまだ未熟なので、不安。行きたくなくなる。考えがまとまってから投票するほうが良い。
- 知識が無いのに選挙権を得ることにプレッシャーを感じる。
- 興味が持てない。
- まわりから「自分ひとり投票しなくても何も変わらない」等の声を聞く。

<その他>

- 選挙のアルバイトをした。選挙にかかわる機会を増やして欲しい。
- 政治について解りやすく、楽しく説明して欲しい。興味を持てるようにして欲しい。



▲意見交換会の様子C班



▲意見交換会の様子D班

(4) 議員に聞きたいこと

意見

Q. 日頃何をしていますか

A. 年 4 回の定例会がある、上程された議案についてそれぞれ調査研究したり、一般質問のための調査等をしている。

Q. 議員は議会開催日以外の時は何をしているの。

A. 研修、セミナーの受講や、市民の声を聴取している。地域の会合やイベントにも参加し、市民の話や、意見を聞きます。

Q. 議員のメリットは。

A. 行政を動かす力と達成感、ふだん会えない人にも会える。

Q. 湖西市をどんな「まち」にしたいか。

A. 限りある財源の中で、セーフティネットは確保しつつ、住みやすいまち、雇用の確保をしたい。

Q. 議員の仕事の中で一番大変と思うことは。

A. 短期間で議案審議を行い、本当に市民のためになるのか、判断し、採決を行うこと。

Q. なぜ、議員になろうと思ったのか。

A. 市民の声の代弁者として。

Q. 議員から市民に求めることは何か。

A. 行政に興味を持って、意思表示をして欲しい。声を聞かせて

Q. 議員になって、デメリットはあるか。

A. 土日の休みがとりにくい、公人なので市民の視線を意識している。

Q. 議員から見て湖西市の良い所は。

A. 働く場所があり、貧困率は他自治体より低い。自然豊かなので大切にしたい。

Q. 議員から見て湖西市の残念な所は。

A. 過去の財政状況が良かったことから市民が政治に無関心、危機感が不足している。

Q. 議員にも位があるのか。

A. 議長が議会の代表、常任委員会、特別委員会の委員長がおり、発言力と責任は大きい。

Q. 市民の意見をどのように聞こうとしているのか。

A. 毎年議会報告会を開いて、市民の皆さんとの意見交換を行っている。議員個人で活動報告、意見交換を行っている人もいる。

Q. 忙しく見えるけど、どうですか。

A. 人によって違うが忙しいです。湖西市以外に出向き勉強に行っている人もいる。

Q. 残りの任期 1 年 3 ヶ月の中でやりたいことが有りますか。

A. 湖西病院など医療関係を改革したいです。

Q. 子供ころの夢がかなったか。

A. もっともっと勉強しとけば良かったと思うことがたくさんある。

3. 高校生の意見から考える議会等の課題

テーマ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・自慢できる点は様々な意見があったが、層別にしていくとまちづくりに関心が多かった。 ・残念な点についても、まちづくりについて関心が高かった。 	
	行政と共有すべき課題	議会の課題
	若者の参加可能なイベントが不足している。企画立案が課題。	効果的なまちづくりについて調査研究が必要。
テーマ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・三次産業やクリエイター志望が多かった。湖西の現状に不足している産業である。 ・キャリア形成に向けた将来の展望を見通せるようなキャリア教育の充実が課題。 ・世の中の動きや将来展望も含めて。 	
	行政と共有すべき課題	議会の課題
	発達段階に応じたキャリア教育の充実が必要。	新産業の調査研究が必要。
テーマ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・政治に対する情報不足。 ・わかりやすく説明して欲しいとの意見もあり、小中学校からの主権者教育が不足。 	
	行政と共有すべき課題	議会の課題
	小中学校から主権者教育の充実が必要。	自治会を中心とした議会報告会に加えて、若年層に対する政治の情報発信が必要。

- テーマ1 生まれ育ったまちの自慢できる点、残念な点
- テーマ2 将来自分たちのやりたいこと、その時に望むまちの姿
- テーマ3 18歳選挙権について思うこと

4. 意見交換会を振り返って（広報広聴特別委員会）

◎第 24 回広報広聴特別委員会

日 時 平成 30 年 3 月 13 日(火) 午前 10 時 00 分から（委員会室）

- ・若い世代（高校生年代）の意見が聞けて良かった。若者独自の視点を感じる事が出来た。
- ・緊張のせいか、消極的な印象はあったが意見はしっかりと出ていた。議会として還元していかないといけないと感じた。議員への期待を感じた。
- ・会話のキャッチボールをしっかりと行うために、議員側は意見の引き出し方の自己研鑽も必要。また、委員も 3 人体制の方がより良い意見が出ると感じた。今後の意見交換会の手法も検討が必要。
- ・選挙権への関心薄く、明確な意思を持っている印象も薄いことから、政治の情報発信などの課題を感じた。選挙権を持つ高校生に対して議員に触れたことで何らかの変化をもたらせたなら良かったと思う。

◎総 括

「議会・議員をより身近」に感じて頂き「自分たちが住んでいる街づくりについて考える」きっかけ作りにはなれたと感じました。

一方で生徒さん達が大変緊張している様子が伺えることから、和やかな雰囲気での意見交換会が持てるよう委員会としても工夫が必要とも考えました。

今後は、テーマ等の選定も含め、生徒さん達にとってより有意義な意見交換会が出来る様、学校側との連携を深め、意見交換会の形式等を協議していく必要性を感じました。



▲議場での集合写真